

公益財団法人 リバーフロント研究所

I 法人の概要（平成 25 年 7 月 1 日現在）

- 1 所在地 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 新川中央ビル 7 階
- 2 設立年月日 昭和 62 年 9 月 1 日
- 3 代表者 代表理事 竹村 公太郎
- 4 基本財産 542,300 千円
- 5 北九州市の出捐金 10,000 千円（出捐の割合 1.8%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	34 人	0 人	0 人	34 人

II 平成 24 年度事業実績

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、常に将来の社会のニーズを先取りし、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など世界的にも地域的にも問題となっている水や水辺に関する諸課題について、多様な分野の学識者と連携して未解明、学際的、先端的な技術、施策、制度の調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、その成果は今後の社会を支える法制、制度等の制定、改定の技術的基盤となることを目指して活動している。

平成 24 年度は、低炭素社会、しなやかで強靱な流域、生態系サービスを楽しむ社会の再構築に向け、河川、海岸等の水辺、流域水循環系に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、持続可能で活力ある流域社会の形成、関係者の意識共有・合意形成などの諸課題に関する研究等を重点的に行った。

これらの研究等の成果を国内外の技術者等へ情報発信、情報共有を図るため、研究等の成果概要はインターネットを通じて公表するとともに、研究発表会、セミナー等を実施した他、河川技術者の参考に供する技術書及び一般市民の河川への関心を高める冊子等の出版を行った。多自然サポートセンター、海岸情報ステーション、ARRN/JRRN の活動等により、多自然川づくりや海岸環境等に係る研究成果、技術情報等の情報共有、発信に努めた。

1 環境・生態系の基本的課題に関する研究等

河川、海岸等の水辺に係わる環境に関し、生態系、生物多様性と物理環境の関係、保全・再生のための環境目標、気候変動のもたらす影響と対応のあり方、生態系サービスの分析・評価など、環境・生態系の基本的課題に関する研究等を行った。

2 持続可能で活力ある流域社会の形成に向けた研究等

地球規模の課題に対処し、低炭素社会、しなやかで強靱な流域、生態系サービスを楽しむ社会の再構築に向け、持続可能で活力ある流域社会の形成を目指した研究等を行った。

3 意識共有、合意形成の円滑化に向けた研究等

表流水・地下水一体の水循環系の状態を過去～現在～未来に渡ってシミュレーションし、水循環の時間的変遷や各種インパクトに対する水循環系のレスポンスを立体的、ビジュアルかつ技術的に正確に「見える化」する技術について、阿武隈川流域をモデルに研究を行った。

4 刊行物の出版等

・機関誌「RIVERFRONT」(年3回刊行)

74号 特集「水環境」A4版 36頁

75号 特集「川文化」A4版 36頁

76号 特集「河口干潟再生」A4版 44頁

水辺空間の健全な利用の促進のため、(財)日本宝くじ協会の社会貢献広報事業による助成を得て、水辺に関する一般向け冊子等、4種を出版し、学校や図書館、市民団体、自治体等に配布した。

・冊子等の刊行

①『よみがえれ!舟運』A4版 48頁

②『水から見た日本文明史と世界の水問題』A4版 90頁

③『自然に学び自然をいかす治水の知恵～歴史から学ぶ自然察とテクノロジー』A5版 96頁

④『川を活かす・守る～河川再生事例集～』A4版 52頁

Ⅲ 平成24年度決算

1 貸借対照表

平成25年3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	22,050,545		
完成業務未収入金	336,491,580		
貯蔵品	597,275		
前払費用	3,385,430		
流動資産合計	362,524,830		
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	542,300,000		
基本財産合計	542,300,000		
(2) 特定資産			
研究開発積立資産	957,700,000		
退職給付引当資産	48,316,000		
特定資産合計	1,006,016,000		
(3) その他固定資産			
建物	12,958,006		
什器備品	3,109,694		
リース資産	6,220,113		
ソフトウェア	161,734		
電話加入権	1,374,400		
敷金	45,514,794		
その他固定資産合計	69,338,741		
固定資産合計	1,617,654,741		
資産合計	1,980,179,571		
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
業務未払金	77,332,500		
短期借入金	46,967,985		
短期リース債	2,435,049		
未払金	5,984,865		
前受金	10,867,500		
預り金	2,910,783		

賞与引当金	8,180,000		
未払消費税等	1,663,100		
流動負債合計	156,341,782		
2 固定負債			
長期リース債務	3,849,287		
退職給付引当金	48,316,000		
固定負債合計	52,165,287		
負債合計	208,507,069		
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0		
2 一般正味財産	1,771,672,502		
(うち基本財産への充当額)	(542,300,000)		
(うち特定資産への充当額)	(957,700,000)		
正味財産合計	1,771,672,502		
負債及び正味財産合計	1,980,179,571		

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,781,040		
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	6,039,705		
③ 事業収益			
調査研究事業収益	449,029,530		
④ 補助金等			
民間助成金	15,750,000		
⑤ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	8,439,000		
⑥ 雑収益			
雑収益	1,556,802		
経常収益計	483,596,077		
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	325,133,978		
研究開発・技術普及費	146,846,562		
② 管理費			
管理費	62,025,898		
経常費用計	534,006,438		
当期経常増減額	▲ 50,410,361		
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	3,602,796		
経常外収益計	3,602,796		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	3,602,496		
当期一般正味財産増減額	▲ 46,807,565		
一般正味財産期首残高	1,818,480,067		
一般正味財産期末残高	1,771,672,502		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	1,771,672,502		

当該年度より会計基準を変更したため、前年度金額は記載していない。

IV 平成25年度事業計画

リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、常に将来の社会のニーズを先取りし、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、多様な分野の学識者と連携して、未解明である、学際的ある、または先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、研究等の成果は今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定の技術的基盤となることを目指して活動する。

具体的には、低炭素社会の実現、しなやかで強靱な流域の形成、生態系サービスを楽しむ社会の再構築に向け、河川、海岸等の水辺、流域水循環系に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、持続可能で活力ある流域社会の形成、関係者の意識共有・合意形成などの諸課題に取り組むこととし、平成 25 年度は以下の研究等を重点的に行う。

研究等は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に貢献するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指す。

V 平成 25 年度予算

1 収支予算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,000,000	3,600,000	400,000
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	5,500,000	4,500,000	1,000,000
③ 事業収益			
調査研究事業収益	500,000,000	600,000,000	▲ 100,000,000
④ 補助金等			
民間助成金	15,000,000	15,000,000	0
⑤ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	8,180,000	8,439,000	▲ 259,000
⑥ 雑収益			
雑収益	1,209,000	1,459,000	▲ 250,000
経常収益計	533,889,000	632,998,000	▲ 99,109,000
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	388,623,659	443,868,092	▲ 55,244,433
研究開発・技術普及費	87,730,341	123,866,908	▲ 36,136,567
② 管理費			
管理費	57,663,000	65,307,000	▲ 7,644,000
経常費用計	534,017,000	633,042,000	▲ 99,025,000
当期経常増減額	▲ 128,000	▲ 44,000	▲ 84,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 128,000	▲ 44,000	▲ 84,000

VI 役員名簿

平成25年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表理事（常勤）	竹村公太郎	公益財団法人リバーフロント研究所
理事（非常勤）	見城美枝子	青森大学教授
〃（〃）	土屋信行	公益財団法人えどがわ環境財団理事長
〃（〃）	三島次郎	桜美林大学名誉教授
〃（〃）	宮村忠	関東学院大学名誉教授
監事（非常勤）	古川巖水	元 京葉臨海鉄道（株）代表取締役専務
〃（〃）	緑川光	税理士